

## 一般廃棄物収集運搬業務委託（A地区）仕様書

### 1 履行場所

発注者が指定する施設（A地区39か所）（仕様書別紙1のとおり、以下「A地区収集施設」という。）及び相模原市南清掃工場、北清掃工場又は津久井クリーンセンター（以下「清掃工場」という。）

### 2 履行期間

令和7年6月1日から令和8年3月31日まで

### 3 業務内容

#### （1）収集及び運搬

- ア 受注者は、A地区収集施設から一般廃棄物を収集し、清掃工場に搬入する。
- イ 清掃工場へ支払う処理手数料は、受注者の負担とする。
- ウ 受注者は、収集の際、ごみが飛散しないように十分注意し、飛散したごみは、ほうき等で責任を持って片付けるものとする。

#### （2）廃棄物の種類及び荷姿

各施設から排出される一般廃棄物で、発注者が用意するポリ袋に入れたものとする。なお、学校ごみ（黄色）及び児童クラブごみ（水色）が入る1袋の内容量は5kg以下とし、厨芥ごみ（緑色）の1袋の内容量は10kg以下とする。

#### （3）担当課及び予定数量

担当課	種類	予定数量
学務課	学校ごみ（黄色）	22,000袋／5kg
こども施設課	児童クラブごみ（水色）	1,000袋／5kg
学校給食課	厨芥ごみ（緑色）	15,300袋／10kg

#### （4）収集場所

- ア 発注者と受注者が協議のうえ、A地区収集施設ごとに定めるものとする。
- イ 受注者は、個別の収集場所について事前に現地調査を実施し、遺漏のないようにする。

#### （5）収集日

原則、仕様書別紙2のとおりとする。ただし、収集日が学校行事の振替休日等に当たる場合は、その施設の収集を実施しない。振替休日等により収集を実施しない施設は、判明次第、発注者から受注者に連絡する。

#### （6）収集時間

午前8時30分から午後4時30分までとする。ただし、正当な事由がある場合はこの限りでない。この場合、発注者の許可を必要とする。

### 4 業務体制

- （1）受注者は、一般廃棄物収集運搬業務（以下「委託業務」という。）を安全かつ遅滞なく適正に遂行できる車両及び人員（車両1台につき2名乗車）を確保すること。
- （2）委託業務に使用する車両は、自動車車検証にて受注者の使用権原（所有権又は使用権）が確認できる塵芥車とし、常に点検し不具合が生じないよう心がけること。
- （3）受注者は、委託業務に使用する車両に、発注者以外が排出する一般廃棄物を混載しないこと。
- （4）受注者は、委託業務を実施するに当たり、現場の管理等を行う現場責任者を定め、現場責任者届を提出すること。
- （5）現場責任者は、委託業務が円滑に実施できるよう、常に発注者と協議を行うこと。

- (6) 委託業務中、受注者の責めに帰する事故を起こした場合、受注者は、責任と誠意を持って、その事故の対処に当たること。また、ただちに委託業務の対応ができる体制を整えること。

## 5 業務遂行の注意点

- (1) 車両運行の際には、交通法規を遵守するとともに、安全確認を怠らないよう心がけ、事故が発生しないよう配慮し、安全運転に努めること。
- (2) 学校周辺及び校内を走行する際及び収集時には、児童等の安全の確保をすること。また、施設への出入りの際には、門扉の戸締りについて徹底すること。
- (3) 業務の実施に当たっては、学校業務に支障のないよう、十分注意すること。

## 6 業務報告書等の提出等

- (1) 受注者は、「一般廃棄物収集運搬実績報告書」（以下、「施設別報告書」という。）を回収業務を実施した月ごと作成し、各施設に提出する。
- (2) 受注者は、回収業務を実施した月ごとに実績報告書を作成し、施設別報告書を添付して、その翌月上旬に発注者（担当課ごと）に提出すること。

## 7 その他

受注者は、委託業務中に施設、備品等を破損した場合は、ただちに発注者に報告するとともに、受注者の責任において原状回復すること。